鈴鹿本棚

腐狂想歌（一）

ふきょう　そうか…

きまぐれネコ屋

目次

まえがき

鈴鹿本棚『妖精裁判』（タイトル予定）
という作品の登場人物の、短めの話です。
「刑法三十九条二項」の難しさに興味があり。
内容として取り入れたく。
しかし、法律については、さっぱりと素人です。
ギャグ内容として考えてください。

本編でも、腐男子や腐女子の登場人物ですが。
腐に関する、あるかもしれないが、ないかもしれない。
という、日常ネタだけ出来てしまい。
掌編で出すのも、いいかも、と。

ギャグや笑いは難しい分野で、
人により不愉快を与える可能性もありますので。

閲覧、ご注意ください。
（※念のため、ボーイズラブにしてあります）

編纂　ゆきしろ小冬

著者歴

ゲーム作品の受賞歴

RPGツクール for mobile

エンターブレイン (KADOKAWA)

　　開催１回目・銀賞 『空と海との間に。』

　　開催４回目・銅賞 『魔法使いビーンの遺産』

　　開催７回目・銅賞 『星の涙と月の雫。』

図書館を含めて、

アプリのシステムが向上することを願ってます。

著者　　きまぐれネコ屋

概要

この作品はフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

「鈴鹿本棚」&「東瀛篤國とうえい あつくに」

◆ 腐男子の夜明けじゃ

◆　腐男子の夜明けじゃ

　――ある日の、早朝。その白髪の男は目覚めると、台所でコップ一杯の水を飲み。テーブルに積み重ねた小説のうちの、本日の一冊を手に取り、読みはじめた。
　やがて、その両目から涙が流れる。
「……――これは、名作だ」
　読書に集中するあまり、瞬きを忘れての目の乾燥が原因と思われる。
　目が、常人より大きくて目薬が足りないのだ。
　そうして男は、部屋のカーテンを開いて朝日を確かめると。
　新聞配達のバイクに向かって、叫んだ。
「今日も良い腐でした！　上田秋成『雨月うげつ物語』の赤頭巾逆、最高！」
　すると、何か納得したかのように新聞配達の人は、軽やかなバイクの動きで去って行った。
　――青頭巾、稚児ちご、少年愛。
　と、叫びたいが。古紙回収用だからと、ＢＬ小説を無料でくれる、腐仲間の国語の先生が近所を新聞配達してる都合。
　合図で、その言い方である。
　だが、通りすがりの人には、だいたい、怖い系のグリム童話の話題かなと、思われてしまう。
　彼は、雪駄せつだ良こん――。後に、『東京で食べちゃってる鬼』という、京都出身の吸血鬼の小説を作成しようとしたが、「これでは食人鬼だな」と、なってしまい。失敗。
　それを原作として漫画化（パロディＢＬ同人誌が出ないかな）を

目指す、元検事で調査員（年齢不詳だが未年）。そして、腐男子である。
　年齢不詳の方が「年中腐言羊」に。
　漢文のようになり、漢文ＢＬができるかも。というので、常に年齢不詳にしてる。
　きっといつか、六法全書ネタのＢＬが増えるだろう。
　なにせ、六法全書は、ほとんど漢文のような状態を基もとにしてる。

　玄関ポストの新聞を確かめ。牛乳配達用の箱を開けて、瓶入り牛乳を取ると。
　今さら、飲んだところで成長期は過ぎてるから背は伸びないが。
　骨粗鬆症こつそしょうしょう予防のために、その牛乳を飲みながら。
（いっそ、自分がモデルのＢＬ同人誌が出ないかな）
　と、艮は思い。
「よーし。申告に行くか！」と、玄関のドアを開けて、出掛けた。

　　　◇　◇　◇

　自転車に乗って駅前に移動。駐輪場に自転車を留めて、群生する駅前ビルの一つに入り、エレベータに乗って目的の階で降りると、そこに興信所があった。
　神仏混合ゆえに、寺務所と社務所の違いが、便所の消臭の香の違

いになってしまい長いのかもだが。
　ここは、艮の従姉が運営の、法律でも認められてる興信所の事務所で、気が向いたときには社務所でもある。
　艮は、チャイムを鳴らさず事務所の玄関ドアを開けて入ると、受付に居た知り合いの男と京都弁の挨拶を交わしてから。事務所の奥に向かった。
　〝社長室〟という記載がある部屋のドアをノックすると、「入れ」という応えがあったので入り。——すると、執務机の椅子に座り、ＢＬアンソロジィを読んでいるボブヘアの女性が居た。
　この興信所の女社長である。
「ボス。ＢＬアンソロジィを、お楽しみのところ……申し訳ないですが。ちょっと、いいですか？」
「なんだ、艮？　顔を出すとか珍しいな」と、ボスはＢＬアンソロジィから目をそらさずに、言った。
　ボスの様子に、微笑みながら艮は申告した。
「今度の大型イベント。神が参加のスペースに行きたいんですが？　よろしいでしょうか？」
「腐神か？」
「はい。ずっと、ジャンルに鎮座されてる神です」
「会場は広いから。迷子にならないよう。チェックして行くがいい」
　ボスの答えに、艮は安堵を含めて一気に疲れたような表情になる。
「わたくしは、著作権に触れる内容に協力することに……。稀少なＢＬ欲しさのあまり、心神耗弱状態にですね……。刑法三十九条二項（心神耗弱）の件は、ほんとうに難しいです」
「労災を申請しておけ」

「……分かってますって……」
　法律関係の勤めだと、いろいろ法律の件で悩まされることも多くあって、難しい。
　こうやって、理解のある上司のもとで働けて、本当によかった。
「同人イベント会場は裁判所じゃないだろう。きっと学祭で、校則こうそくで高速こうそく道路沿いの配給で、道路交通法が存在してる」
「競歩で会場に向かいますね」
「社会的な死になるんじゃないぞ。なるなら、マイナス要素でない萌での多肥タヒだ」
「はい！」
「……我々は、神田明神のように、コロココロと毛を消耗して弱小サークル化しての、心神耗弱でのサークル参加は、できないからなぁ……」
「そうですね。六法全書は重要書物で弱小ではないですから」
　弱小じゃないというのに。いったい、いつになったらパロディ作品やＢＬと連結されるのだろうか。
　もう、宮内省（９７１）＆宮内庁（９７１）で、９９（ナイナイ）と忍忍（七一心＝忍）作戦でいくしかない。
「違法パロディ作品で暮らせると思い込む者に生活保護を組むため。同人活動の趣味がある、非番の、役所職員と、警備状態の警察官、税務署の職員は入れるんだが」
　その人のために、言うこと聞かないなら裁判沙汰とか、現実的すぎる。
　生き甲斐は大事だ。
　楽しんでるのに、それはない。
「……――もう、我々、調査員や裁判関係者が入るに、〈裏飯太郎

ちゃん企画〉しかないかもだ」
「〈裏飯太郎ちゃん企画〉ですか？　消失した企画では？」
　日本語が解らない労働目的の外国人の両親が、生まれたばかりの子の出生届けを見本の通りに作成したが。女の子なのに、うっかり、山田太郎にしてしまい。
　このままでは性犯罪や酷く苛められると警察沙汰になり。裁判の手続き。
　隠すために、黒子に。
　さらに、偽名を里子に。
　その里子も、どうかなというので、英雄由来の別の偽名に。
　成人になり、最初の偽名を知り。
　自分は里子で実家（生家）があり。実は、裁判官とか公安警察の子だろうと。
　そうして、「君、裁判官や公安警察。公安調査員じゃないだろう」と、気づかないほどに誇大妄想の状態にして。
「君、著作権ない作家だろう」というので打ぶちのめして、心神耗弱になったら。
　調査や裁判の手続きの件で同人関連に入り。
　しかも、ストーカー行為や服務規律違反を行ってる調査員についても、裁く。

　という。不意打ち「ナイナイ♡忍忍」の企画である。
　環境依存文字の確認で、♡（ハートマーク）は欠かせない。
　♡を●や■にも変化させ、それを気にしての行為か、チェックに使われるのだ。

　生活苦がないように、犯罪がないようにだが。

　そうやって干渉する側も、一定の違法状態になる可能性があり。
　特定の要人警護の状態になってる方は、秘匿義務やプライバシー保護で情報が分からなく。気になって勝手に調べて、相手の心身への危害になったり。生活保護を組もうとして、裁判沙汰になることもあるのだ。
　艮たちは、そういう違法探偵（違法調査員）業対策の調査員でもある。
「〈裏飯太郎ちゃん企画〉かぁ……」
　まるで、居候や宿泊していた方が皇帝の末裔で。
　士農工商ですらないのに、平安貴族だと思い込むのと、似ているのかもだ。
　とくに、士農工商の商は、「商（殷）」の件で、秦の始皇帝の末裔も行商人を装い、都を訪れるために使用していたかもしれなく。
　そんな件より。味噌知識の方が役立つとされる世の中の方が、気楽でいいであるが。
「その企画。まだあるんですか……。大丈夫なんですか？　成功するんですか？」
「彼らの親は、不法の日本滞在にもなってて。ほんらいは、強制帰国だったんだが。帰化とか保護の交渉としてそうなってるようだ。それに、全員の子がハゲになるとは限らない」
　心神耗弱は、薄毛か、気に病むこともあるというので白髪が優先で。
　ハゲになってしまうと、難しいことになる。
　だいたいが、笑わして事態を落ち着かせようと、ハゲにしてしまったりする。
「いったい。どのジャンルで、〈裏飯太郎ちゃん企画〉が？」
「ティーンズラブだな。エロはなしだ」

「……——そうですか」

　エロなしの、ティーンズラブか。

　——エロありティーンズラブなら。ほぼ、男性向けアダルトだから艮も読み。
　助平すけべの件だけに。秦＋平による天秤ライブラとして助けになれそうだが。
　じゃあ、関係ないな、と。

　十王の秦広王しんこうおう（不動明王）の饅頭我慢（即罰金や示談金）にするだろうと。
　——この時。うっかりシャッフル企画を行い、アミダくじの状態で、五道転輪王（阿弥陀如来）の長期の印刷ローンにしてる件に、気づかず。
　十王は、信仰心があるなら助けてあげるという優しい秦広王以外の、九つのヤバイ閻魔で形成されているのでは——。
　と、スマホで最新の腐予報の状態を確認して、
「なに！？　腐神がイベント限定の無配？　過去作が中古ショップに流れてるだとっ！？」
　その重苦しい思考は、まったくもって綺麗さっぱりと艮の頭から消え。
　今度の大型イベントでＢＬ新刊を買いに行った後。中古ショップに寄るか。
　という件で、脳内がいっぱいになってしまった。

——化学＆科学の進化だろうか。

「二刻にこく（二黒じこく以内に裁判が終わってしまう。このままでは、天の自国じこくでの天国ではなく、地獄じごくに。閻魔庁として、人生のために何か言わなきゃ」

　ということで、南町奉行所の大岡おおおか越前守えちぜんのかみ忠相公ただすけこうのごとき、神話や仏教の文句が、裁判所では時々語られるのかもしれない。

鈴鹿本棚『腐狂想歌（一）　腐男子の夜明けじゃ』了

鈴鹿本棚『腐狂想歌（一）』

発行日	二〇二六年八月十六日
著　者	きまぐれネコ屋／（編纂）ゆきしろ小冬
発行元	東瀛篤國（とうえい あつくに）
